

～～第8232回～～

鳳凰三山

～H29. 7. 21-23～

一日目の21日、須玉IC近くで前泊し、翌日22日、青木鉦泉に着く。準備運動後、ドンドコ沢コースにて地藏岳を目指す。緩やかな登りの樹林帯を進む。蒸し暑い。沢の水音が続く中次第に登りがきつくなり小休止を繰り返す。南精進ヶ滝、白糸ノ滝で気分転換。五色ノ滝では滝つぼに近づき一時の清涼感を味わう。鳳凰小屋着。受付後、ザックを置き軽装で地藏岳に向かう。林を抜け白砂地を進むにつれ巨岩が姿を見せる。直下から見上げるオベリスクはそびえ立つとの表現に納得。迫力も充分である。足元の岩陰にはタカネビランジが見られる。下り始め数分後にはガスが発生し、巨岩は姿を隠す。山小屋は大変な混雑で、布団1枚に2人と最悪である。やがて雨は本降りとなる。三日目、曇空の中、観音岳へ向かう急坂を登る。木々の間からオベリスクが見える。林を抜けた途端風景が一変、白い砂と岩が目飛び込む。鳳凰小屋分岐着。風も涼しく昨日の蒸し暑さと比べると快適な稜線歩きとなりすぐに観音岳山頂に着く。四方の峰々の展望を期待するも全て雲の中、残念である。薬師岳に向かう。暫くすると富士山が姿を現す。雲に浮かぶ稜線と富士山がきょうの絶景なる。広々とした薬師岳山頂に到着。ゆっくりしたいが風が強まり急いで林の中に逃げ込み中道コースの急な坂を下る。御座石を過ぎると霧が発生、雨もポツリ。登山道も緩やかになり安堵したのも束の間、濡れたむき出しの木の根が曲がりもので滑った転んだの危険な道に変わる。声を掛け合い緊張した下山が中道登山口まで続いた。青木鉦泉着後、汗を流し帰路に着く。

参加者：5名（富士宮4、静岡北1）

天候：曇り

地図：鳳凰山・夜叉神峠

コースタイム：(22日)青木鉦泉 640…南精進ヶ滝 850…白糸ノ滝 1146…五色ノ滝 1230…鳳凰小屋 1345-1400…地藏岳 1500…鳳凰小屋 1600

(23日)鳳凰小屋 600…鳳凰小屋分岐 700…観音岳 745…薬師岳 820…御座石 1015…中道登山口 1255…青木鉦泉 1335＝富士宮 1700

記録：富士宮支部 K・K